



### 問題3

障害者の自立・社会参加の支援等の施策を推進することを目的に、その基本原則を定め、国、地方公共団体等の責務を明らかにした法律について、次の選択肢の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 障害者総合支援法・障害福祉計画
- ② 障害者差別解消法
- ③ 障害者虐待防止法
- ④ 障害者基本法
- ⑤ 発達障害者支援法

### 問題4

2021年の少年法改正に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 犯罪行為をした少年のうち、18歳・19歳の者は特定少年と位置づけられ、17歳以下の少年とは区別して取り扱われる。
- ② 少年審判ではなく、刑事裁判を受ける対象事件の範囲が、特定少年については増加した。
- ③ 特定少年の時に犯した罪によって起訴された者については、有罪となった場合、報道規制が解除される。
- ④ 特定少年も、虞犯少年として少年審判に付することができる。
- ⑤ 特定少年に対して有期の懲役または禁錮の刑罰を言い渡す場合、刑期は最大15年までとなる。

### 問題5

KABC-IIに関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① SLDの診断補助として用いられることがある。
- ② Luriaによって作成された検査である。
- ③ KaufmanモデルとCHCモデルでの解釈が可能である。
- ④ 認知尺度と習得尺度から構成されている。
- ⑤ 2歳6か月から18歳11か月が適応範囲である。

### 問題6

感覚の種類についての次の選択肢の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 幻痛感覚
- ② 皮膚感覚
- ③ 運動感覚
- ④ 内臓感覚
- ⑤ 視覚

### 問題7

危機介入に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 危機状態は、個人のライフサイクル上で生じる脅威などに直面した場合は含まれない。
- ② 危機介入の際、ソーシャルサポートをはじめ、クライアントが有する複数の資源を活用することが大事である。
- ③ 心理職が短期的に支援に入る場合、早急にデブリーフィングを行う必要がある。
- ④ 行政などの公的なサポートよりも、家族や友人などのインフォーマルなサポートを優先的に活用する。
- ⑤ 早急に元の状態に復帰することが目的なので、援助者が受動的態度をとることが多い。

### 問題8

労働者の心の健康の保持増進のための指針において、労働者への教育研修の内容に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 心の健康問題により休業した者の職場復帰への支援の方法
- ② 自発的な相談の有用性
- ③ 健康情報を含む労働者の個人情報の保護等
- ④ 管理監督者の役割および心の健康問題に対する正しい態度
- ⑤ 事業場内産業保健スタッフ等との連携およびこれを通じた事業場外資源との連携の方法

### 問題9

学習理論に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 人や動物が行う自発反応に刺激を外的に随伴させたとき、その自発反応の頻度が増大することを正の強化という。
- B. 随伴される刺激を随伴刺激という。
- C. 生体の自発反応に刺激を外的に随伴させることで、自発反応の頻度が低減する場合は、その手続きを罰という。
- D. 上記のA・B・Cのような手続きをレスポナント条件づけという。

- ① A B
- ② A C
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ C D

#### 問題10

ベンダー・ゲシュタルト・テストに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① ベンダー・ゲシュタルト・テストの図形の原案は Wertheimer, M. の論文より選ばれた。
- ② ベンダー・ゲシュタルト・テストは、Bender, L. により視覚—運動ゲシュタルト・テストとして発表された。
- ③ ベンダー・ゲシュタルト・テストの原法は、図形の直接描写である。
- ④ Pascal, G. と Suttel, B. は、ベンダー・ゲシュタルト・テストによる視知覚—運動年齢基準を作成した。
- ⑤ ベンダー・ゲシュタルト・テストは、投影（映）法として用いられることもある。

#### 問題11

自我の防衛機制に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 投影は、自分の欲望を自分のものと認めず、相手も持っているものとする機制である。
- ② 反動形成は、自分では認めがたいことを意識から無意識に追いやる機制である。
- ③ 抑圧は、思考と感情を切り離す機制である。
- ④ 昇華は、他の人の行動を取り入れて、同じになろうとする機制である。
- ⑤ 打ち消しは、実際に感じていることと正反対のことを言う機制である。

#### 問題12

プレイセラピー（遊戯療法）におけるセラピストの態度についての次の記述のうち、最も適切な組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. セラピストは、プレイセラピーでの様子を親に全て報告する。
- B. 何のためにプレイセラピーに来るのかを、子どもと共有する。
- C. 子どもが描いた絵を持ち帰りたと言った時、子どもにその意図をたずねる。
- D. セラピストは、子どもと一緒に楽しく遊ぶことを重視する。

- ① A B
- ② A C
- ③ A D
- ④ B C
- ⑤ B D

### 問題13

家族力動が表れやすい心理検査として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① KFD
- ② P-F スタディ
- ③ エゴグラム
- ④ スクイグル法
- ⑤ ロールシャッハ・テスト

### 問題14

心理学研究に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 2種類の治療法の効果を比較検討する際に、それぞれの治療を受けるグループ間に年齢の差がないようにした。このとき、年齢はダミー変数である。
- ② ある行動に及ぼす要因を明らかにするために、実験者が操作する変数を統制変数という。
- ③ 他者からの否定的評価の恐れが、スピーチ不安の高さを高めることを検証する場合、スピーチ不安の高さは基準変数である。
- ④ 実験者の外見が、参加者の行動に意図せず影響を及ぼすことをスリーパー効果という。
- ⑤ 複数の説明変数があり、それらに高い相関関係があることで、信頼できる推定値が得られなくなることをキャリーオーバー効果という。

### 問題15

高齢者向け心理検査に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. MMSE (Mini-Mental State Examination) は、図形の模写や指示にしたがって動作を行うなど動作性の問題も含まれている。
- B. HDS-R (改訂長谷川式簡易知能評価スケール) は 11 項目からなり、見当識に関する質問が含まれている点の特徴である。
- C. コース立方体組み合わせテストは、高齢者のみを対象とした神経心理検査であり、教育の程度や職業に左右されず、言語障害があっても使用できる。
- D. 三宅式記銘力検査は、聴覚性言語性記銘力の検査である。

- ① A B
- ② A C
- ③ A D
- ④ B C
- ⑤ B D

### 問題16

青年期に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. Erikson, E. H. は、青年期ではアイデンティティ確立のために、本来背負うべき義務や責任を免除されている時期があるとして、それをアイデンティティの拡散と呼んでいる。
- B. Hollingworth, L. S. は、不安と動揺が特徴的な青年期を、疾風怒濤の時代であると表現した。
- C. Lewin, K. は、青年のことをもう子どもではないけれど大人になりきれていない境界線上にいる人たちという意味で「境界人」と呼んでいる。
- D. Blos, P. は、青年が親の影響から分離し、心理的に独立する過程を第 2 の個体化と呼んでいる。

- ① A B
- ② A C
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ C D

問題17

自律神経系に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 交感神経の活動が亢進すると、気管内径が狭まる。
- B. 交感神経の活動が亢進すると、心拍出量は低下する。
- C. 交感神経の活動が亢進すると、発汗が増大する。
- D. 副交感神経の活動が亢進すると、瞳孔が散大する。
- E. 副交感神経系の活動が亢進すると、胃腸の運動が活発になる。

① A D

② A E

③ B C

④ B D

⑤ C E

### 問題18

以下の文章を読んで問題に答えなさい。

68歳の女性、主婦A。結婚して夫と同居しているが、拳児なし。Aは高校卒業後、事務職として就職し定年まで勤務した。68歳時に受検した人間ドックにて胃のバリウム造影検査を受け腫瘍が疑われた。近医消化器内科を受診し上部消化管内視鏡検査を受けた結果、ポリープが発見され切除したが、病理検査にて良性の診断であった。その後、「食欲が出ない」、「本当は胃ガンなのに私に気がつかって本当のことを隠している」、「ガンで死ぬくらいなら自殺した方がマシだ」と訴えるようになったため、消化器内科医の勧めで夫同伴のもと、精神科病院を受診した。

精神科の診察時、張りのない声で、「自分には生きる価値がない」、「夫にも迷惑をかけて大変申し訳ないと思っている」、「どうせガンで死ぬのだから放っておいてほしい」と述べた。

Aに認められる可能性の高い精神症状として、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 思考制止
- B. 関係妄想
- C. 観念奔逸
- D. 思考途絶
- E. 微小妄想

- ① A C
- ② A E
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ D E

### 問題19

知能に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① Spearman, C. は、因子分析を用いて g 因子と s 因子から成る二因子説を提唱した。
- ② Thurstone, L. L. は、7つの独立した能力によって構成される多因子説を提唱した。
- ③ 流動性知能と結晶性知能を提唱したのは、Guilford, J. P. である。
- ④ 流動性知能は、推論を用いて新たな課題を解く能力であり、加齢による影響を受ける。
- ⑤ 結晶性知能は、教育や経験によって培われた能力である。

問題20

高齢期以降の適応に関する「選択最適化補償理論」を提示したのは誰か、次の選択肢の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① Rowe, J. W. & Kahn, R. L.
- ② Jung, C. G.
- ③ Baltes, P.
- ④ Tornstam, L.
- ⑤ Carstensen, L. L.

II. 次の専門用語について説明しなさい。

- (1) Rogers, C. R. が提唱した自己理論
- (2) 原因帰属





